

2025 年度 後期

留学生教育・支援センター

日本語プログラム「上級Ⅱ」シラバス一覧

科目名	曜日・校時	担当者	ページ
上級Ⅱ 総合 A	金 1・2	多田	… 1
上級Ⅱ 総合 B	月 1・2	安田	… 2

2025年度 後期	曜日・校時	金曜日 1・2 校時	コマ数	2 コマ
授業科目	上級Ⅱ総合 A			
担当教員名	多田美有紀	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	アメリカ英語の使われ方や背景、状況と日本語の使われ方や背景、状況を比較、考察することにより、日本語でのコミュニケーションについて理解を深める。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

地域差、世代差、性差などによる言葉の使い分けや違いはどの言語にもありますが、言葉を使い分ける基準などは言語で異なります。この授業では、日本語の言葉の使い分けの状況や背景を学び、状況の違いと日本語の言葉遣いの違いの関係について、グループ活動や個人作業を通して考えます。

		1 限目	2 限目
第1週	10/3	オリエンテーション、第1章 社会言語学とはなにか	個人作業(練習)
第2週	10/10	第3章 言語のバリエーション 2 地域方言	グループ活動
第3週	10/17	第3章 言語のバリエーション 3 社会方言	グループ活動
第4週	10/24	第3章 言語のバリエーション 5 ジェンダーと言語	グループ活動
第5週	10/31	第3章 言語のバリエーション 6 年齢と言語	グループ活動
第6週	11/7	第3章 言語のバリエーション 1 ウィリアム・ラボフの古典的研究	個人作業
第7週	11/14	第3章 理解チェックテスト①	理解チェックテスト②
第8週	11/21	第4章 言語とコンテキスト 2 スピーチ・アコモデーション	グループ活動
第9週	11/28	第4章 言語とコンテキスト 3 ポライトネス・ストラテジー①	グループ活動
第10週	12/5	第4章 言語とコンテキスト 3 ポライトネス・ストラテジー②	グループ活動
第11週	12/12	第4章 言語とコンテキスト 4 カと仲間意識	グループ活動
第12週	12/19	第4章 言語とコンテキスト 1 オーディエンス・デザイン	個人作業
第13週	1/9	第4章 理解チェックテスト①	理解チェックテスト②
第14週	1/23	第5章 社会言語学とその周辺 4 異文化間コミュニケーション①	グループ活動
第15週	1/30	第5章 社会言語学とその周辺 4 異文化間コミュニケーション②	個人作業

教科書・教材等	『社会言語学入門』 東照二 著、研究社
成績評価の方法・基準等	出席・授業態度 5%、グループ活動 5%×9 回=45% 個人作業 10%×3 回=30% 理解チェックテスト 10%×2 回=20% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 <u>留学生教育・支援センター</u> (TEL)095-819-2243 (E-MAIL) ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	

2025年度 後期	曜日・校時	月曜日・1校時、2校時	コマ数	2コマ
授業科目	上級Ⅱ総合B			
担当教員名	安田真由美	e-mail	授業初日に通知	
授業到達目標	日本社会における格差問題を理解し、自分の国の状況と比較しながら、社会における様々な格差問題について、話したり書いたりすることができる。			

授業概要／毎週毎の授業内容を含む

①毎回、レジュメを作って、読み進める。本を読むこととレジュメ作成は宿題とし、レジュメはLACSに提出する。提出締め切りは、毎週日曜日の23:59とする。

②授業の中では、1校時に内容確認や発表を行い、2校時にはその日のテーマに沿ったディスカッションを行う。

③授業開始4週目から、該当箇所の発表を行う。

④日本と自国の格差問題について比較し、1500字程度のレポートにまとめ、提出する。(締め切り:2月9日23:59)

※受講者の状況によって、スケジュールを変更することがあります。変更する場合、授業開始後に連絡します。

※2月2日(月)が休講になる場合は、翌週、2月9日(月)に補講をします。

	日にち	1 限目	2 限目
第1週	9/29	オリエンテーション	※はじめに『格差社会』
第2週	10/6	※『格差社会』第1章 1,2,3 内容確認	※ディスカッション
第3週	10/20	※『格差社会』第1章 4,5 内容確認	※ディスカッション
第4週	10/27	『新型格差社会』第1章 pp.16-28, 内容確認, 発表	ディスカッション
第5週	11/4(火)	『新型格差社会』第1章 pp.28-41, 内容確認, 発表	ディスカッション
第6週	11/10	『新型格差社会』第1章 pp.41-53, 内容確認, 発表	ディスカッション
第7週	11/17	『新型格差社会』第2章 pp.56-72, 内容確認, 発表	ディスカッション
第8週	12/1	『新型格差社会』第2章 pp.72-85, 内容確認, 発表	ディスカッション
第9週	12/8	『新型格差社会』第3章 pp.88-98, 内容確認, 発表	ディスカッション
第10週	12/15	『新型格差社会』第3章 pp.98-116, 内容確認, 発表	ディスカッション
第11週	12/22	『新型格差社会』第4章 pp.118-131, 内容確認, 発表	ディスカッション
第12週	1/5	『新型格差社会』第4章 pp.131-147, 内容確認, 発表	ディスカッション
第13週	1/19	『新型格差社会』第4章 pp.147-159, 内容確認, 発表	ディスカッション
第14週	1/26	『新型格差社会』第4章 pp.159-170, 内容確認, 発表	ディスカッション
	2/2	休講	休講
第15週	2/9	『新型格差社会』第5章 pp.172-189, 内容確認, 発表	ディスカッション

教科書・教材等	山田昌弘(2021)『新型格差社会』(朝日新書)朝日新聞出版 750円+税 ※第1週目～第3週目 橋木俊詔著(2006)『格差社会—何が問題なのか』(岩波新書) ※『格差社会—何が問題なのか』は使用箇所をコピーして配布します。
成績評価の方法・基準等	レジュメ作成・提出 50%, 発表 20%, 期末レポート 20%, 授業への参加度 10% 注意:授業は全回出席することが原則です。授業に出席した時数が授業を行った時数の3分の2に達しない場合は、成績評価は与えられません。
アクセシビリティ	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または留学生教育・支援センターにご相談下さい。 <u>留学生教育・支援センター</u> (TEL)095-819-2243 (E-MAIL) ryugakusei_nihongo@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考(準備学習等)	

